

令和5年度地区別市政懇談会

市政報告

東地区

1

東地区

- 1.全国屈指の森林観光都市
- 2.切れ目のない子育て支援
- 3.デジタル化の推進
- 4.カーボンニュートラルの取組
- 5.感染症対策
- 6.都市間競争から都市間連携へ
- 7.東田原急傾斜地の対応
- 8.通学路整備・市道改良等
- 9.クアーズテック秦野カルチャーホール大規模改修工事に伴う休館

1.全国屈指の森林観光都市 (表丹沢の魅力づくりと4駅にぎわい)

1-1.ヤビツ峠・蓑毛周辺の魅力向上

1-2.羽根森林資源活用拠点（仮称）

1-3.小田急線4駅周辺のにぎわい創造

1-4.弘法山公園利活用方針

森林観光都市を目指して 表丹沢魅力づくりと小田急線4駅にぎわい



1-1.ヤビツ峠・蓑毛周辺の魅力向上

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画(R5. 8策定)



基本方針1 地域資源を活用した新たなサービスの開発

滞在コンテンツの造成、林道を活用したイベントの充実、
特産品や食コンテンツの開発

基本方針2 滞在環境の魅力の向上

滞在拠点の整備・充実、トイレ環境の充実、眺望・景観の整備、
遊休資産の活用と鳥獣被害対策

基本方針3 交通ネットワークの充実

レンタサイクルの検討、周遊型交通サービス等の検討、
道路環境の充実

基本方針4 人を起点とした魅力づくりの推進

包括的な推進体制の構築、ガイド人材の育成講座の実施、
地域住民や外部人材を巻き込む仕組みづくり

基本方針5 情報発信の充実

観光情報等の充実、マナー等の情報発信の充実

1-1ヤビツ峠・蓑毛周辺の魅力向上

緑水庵の活用展開イメージ



蓑毛自然観察の森の散策路の整備

令和4年度、5年度の2か年で見晴台及び見晴台までの散策路をウッドチップ舗装に整備



駐車場及び多目的広場

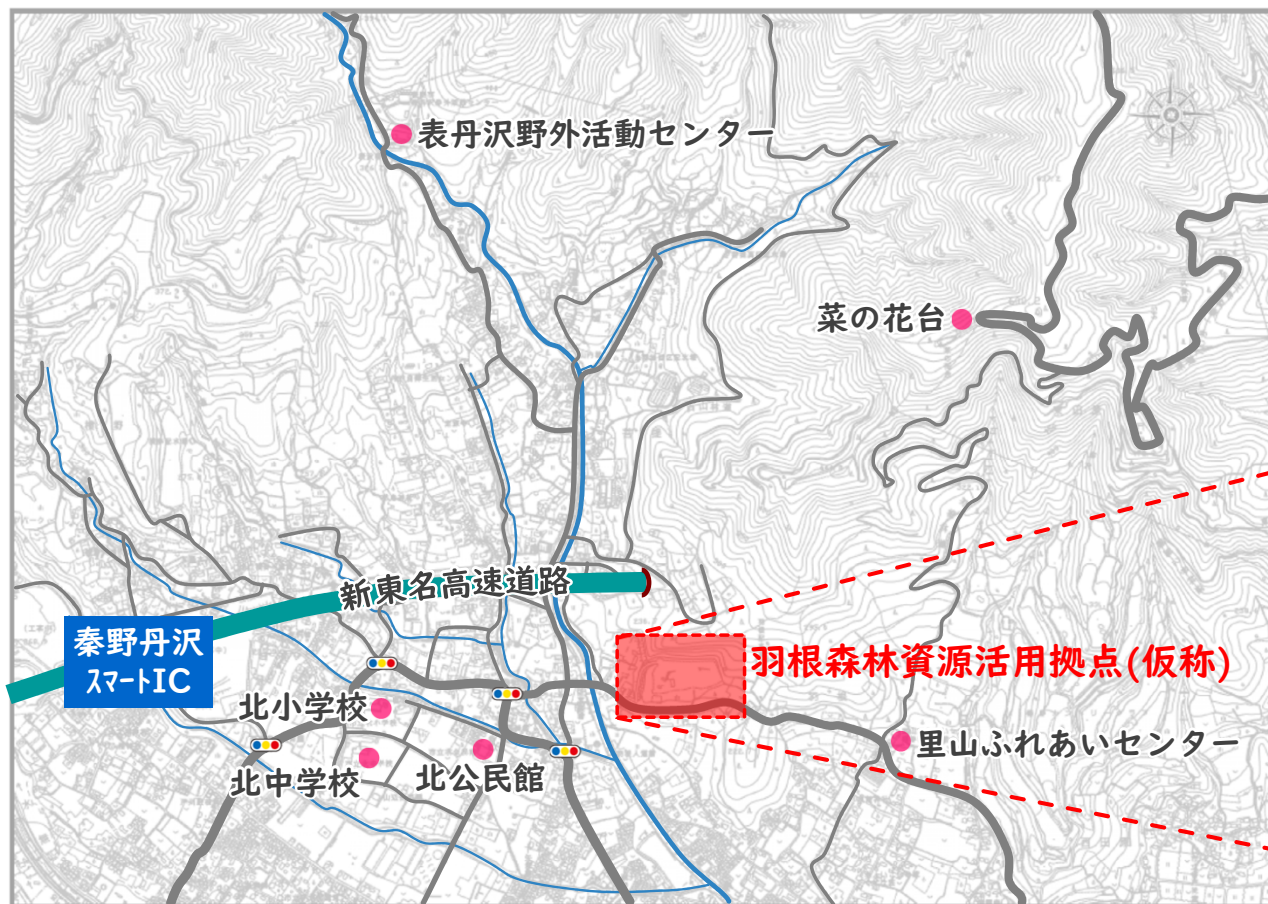
令和6年度に整備

緑水庵及びトイレ

令和7年度に緑水庵の修繕、トイレの改修

1-2.羽根森林資源活用拠点（仮称）について

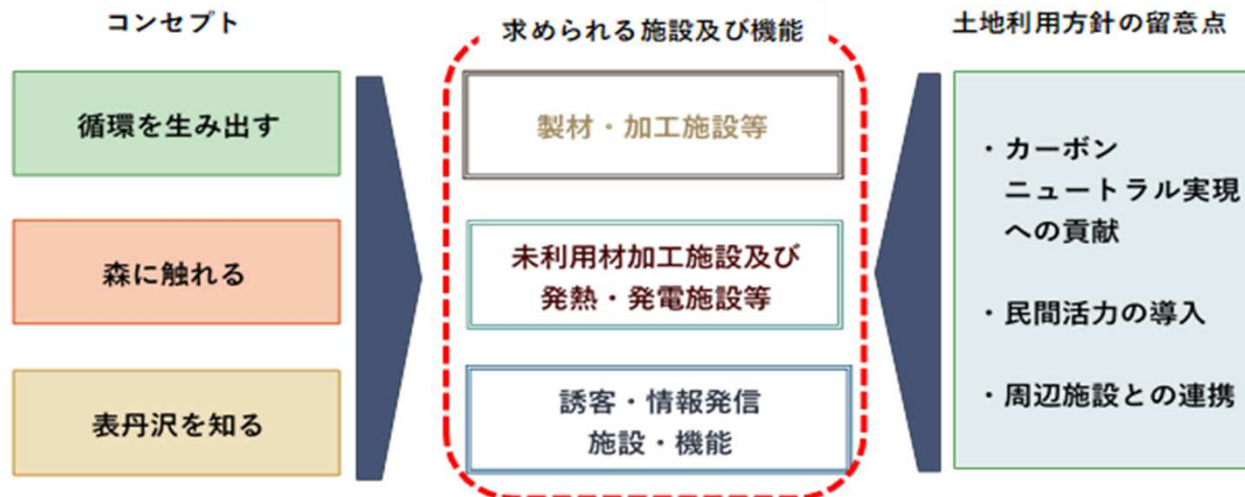
1 羽根森林資源活用拠点（仮称）の位置



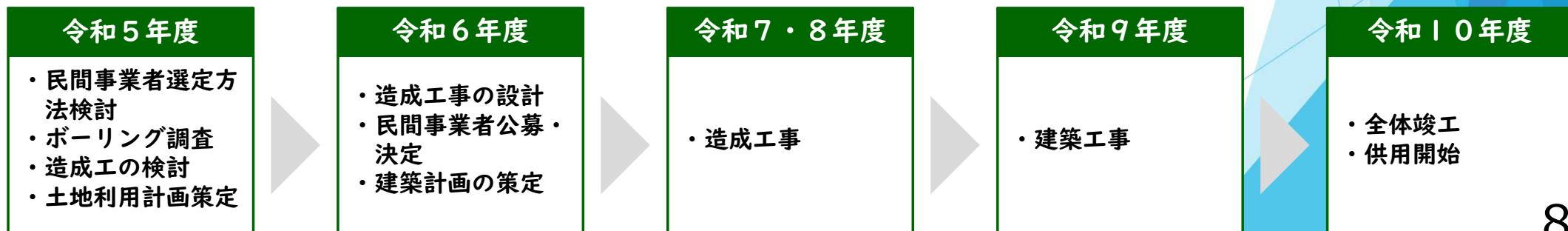
羽根1066番1ほか 5.1ha

1-2.羽根森林資源活用拠点（仮称）について

2 羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想の基本コンセプト



3 今後のスケジュール（予定）



1-3.小田急線 4 駅周辺のにぎわい創造

鶴巻温泉駅



東海大学前駅



秦野駅



渋谷駅



1-3.小田急線4駅周辺のにぎわい創造

秦野駅北口周辺地区の未来ビジョンの作成に取り組んでいます

秦野駅北口周辺地区 未来ビジョン(取組みの方針)

はだの暮らし×発信する

“はだの”人×交流する

空き地・空き家×使う

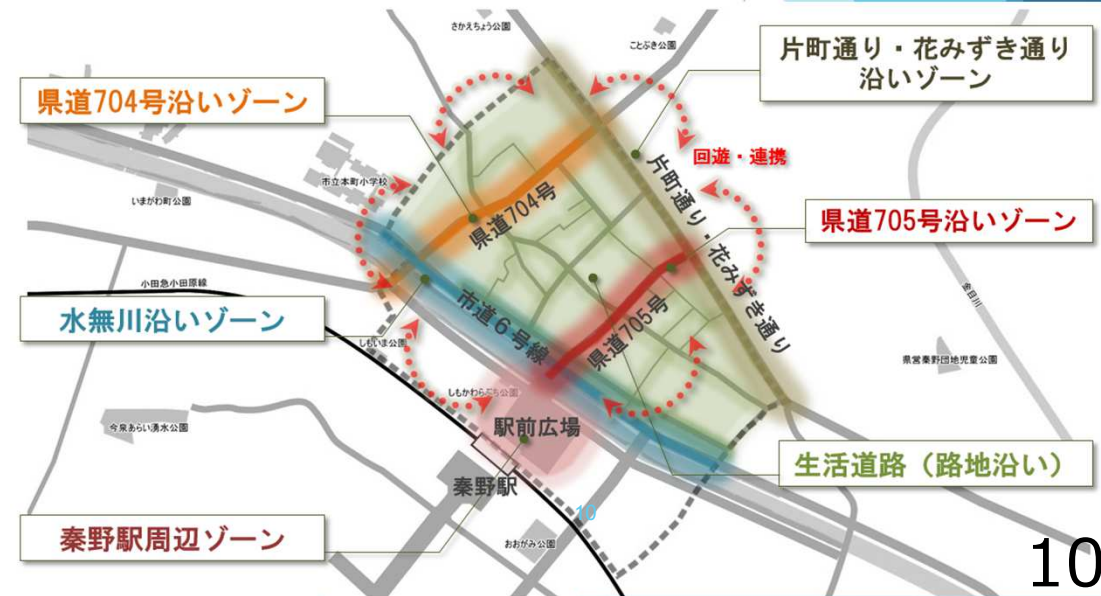
水無川の景観×楽しむ

公共空間×憩う

歴史的建造物×活かす



未来ビジョンでは、秦野駅北口周辺地区を6つのゾーンに分け、地域資源や地域活動等の蓄積を生かしながら、これまで以上に市民、商業者、企業等と行政が連携して、にぎわいの持続するまちづくりに取り組んでいくための指針となることを目指しています。



1-4.弘法山公園利活用方針の策定



桜



アジサイ



ヤマユリ



紅葉



ハイカー

弘法山公園は、弘法山、浅間山、権現山の3つの山で構成され、四季折々の草花や風景を楽しむことができ、市街地にある低山のため、ハイカーを中心に年間で約50万人が訪れています。

また、権現山山頂の展望台からは、富士山が一望でき、市内屈指のビューポイントとなっています。

1-4.弘法山公園利活用方針の策定

秦野駅周辺



五十嵐商店

鶴巻温泉駅周辺



東海大学前駅周辺



瓜生野百八松明



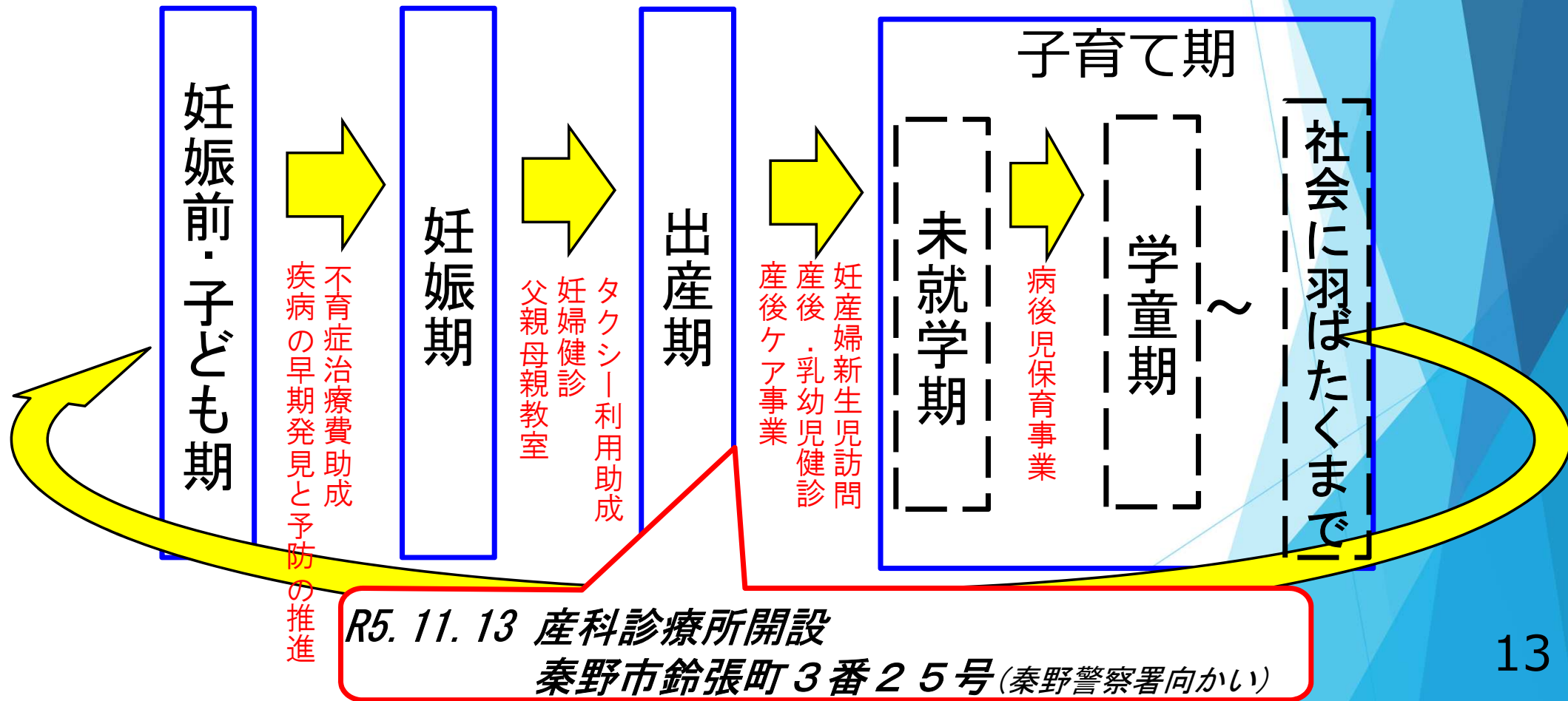
ジビエ (猪鍋)

弘法山公園は、3駅（秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅）をつなぐ重要な観光拠点としての可能性を秘めています。

このため、今年度、弘法山公園利活用方針を策定し、周辺の地域資源を有効活用する等、3駅周辺のにぎわい創造につながる取組を進めます。12

2.切れ目のない子育て支援

ライフステージに合わせた事業の展開 = 切れ目のない支援



アクアベルクリニックの開設について

(産科有床診療所)

令和5年11月13日 診療開始

開設前の妊婦検診は、秦野南レディースクリニックで受診可能

住所：秦野市鈴張町3番25号（秦野警察署向かい）



アクアベルクリニックリーフレットより抜粋

3. デジタル化の推進について

はだのICT活用推進計画（令和3年度策定）

基本方針1 市民にとって便利でやさしいICT活用の推進

基本方針2 ICTを活用した効率的で持続可能な行政運営の推進

基本方針3 データの積極的な利活用の推進

基本方針1 市民にとって便利でやさしいICT活用の推進

行政手続等デジタル化の推進



市民の利便性向上、事務の効率化、感染症の感染拡大防止の観点から、行政手続をはじめとする各種行政サービスのデジタル化を推進し、いつでも、どこでもやり取りできる市役所を目指します。

地域におけるICT活用の推進



ICTを活用した市民への効果的な情報発信や、地域におけるICT活用に関する支援、環境整備等を推進し、地域がつながる環境づくりを目指します。

デジタルデバイド対策の推進



ICTを活用することにより、年齢や身体的な条件その他要因に関わらず、誰もが容易に行政サービスを利用できる環境づくりを目指します。

3-1.行政手続き等デジタル化の推進

(1) 各種申請等のデジタル化

電子申請

- 粗大ごみ収集申請
- がん検診・人間ドック利用券・市民健康診査の申し込み
- 水道の使用開始、中止届
- 国民健康保険の脱退
- 生涯学習講座の申し込み
- 各種アンケート など

手続きフォームに入力



ゴミステーションの管理状況の報告など、自治会から市への各種申請の電子化も進めています。

マイナンバーカードを用いた申請

- 引っ越しなどの行政手続き
- 子育てに関する各種申請
- 介護に関する各種申請
- 住民票など各種証明書をコンビニで取得
- 地方税申告手続 (eLTAX) など

マイナンバーカードを用いて本人確認



この他、保険証としていつもの通院が便利に

3-1. 行政手続き等デジタル化の推進

(2) キャッシュレス決済レジの導入

10月2日（月）から本庁舎1階戸籍住民課、2階資産税課窓口でのキャッシュレス決済レジの運用開始（順次、拡大予定）



使える決済サービス	
	決済ブランド
クレジットカード	VISA, Mastercard, JCB
電子マネー	iD, Edy, WADN, QU+, BARICA
交通系電子マネー	SUGOCA, PASMO, OCA, SUICA, nimoca, はやかりん
スマホコード	LINE Pay, PayPay, allPAY, Pay, R Pay, d払い, Bank Pay, Jcoin

3-2.地域におけるICT活用の推進

(1) 自治会SNS「いちのいち」

自治会専用コミュニケーションツール

令和5年10月1日時点 約9割（215/240自治会）

【利用シーン】

回覧板や地域清掃の様子など自治会の皆さんへお知らせしたい
様々な情報をいつでも簡単に共有できます！



3-2.地域におけるICT活用の推進

(2) 電子地域通貨

- 限定された地域のみで使えるお金。一般的に、スマートフォンに専用アプリをダウンロードして事前にチャージを行い、登録店舗での買い物に利用できる。
- 地域から外に流出するお金を減らし、地域外から入ってくるお金を増やすことができる。

【他市の電子地域通貨（例）】



【期待される効果とメリット】

市民/観光客



- ・ 簡単便利なキャッシュレス決済の利用
- ・ 地域限定ポイント付与、買物がお得に
- ・ アプリを通じた生活の利便性向上
- ・ 感謝の気持ちをポイントでプレゼント

★期待される効果

- ①地域経済の好循環の促進と活性化
- ②生活利便性の向上、カーボンニュートラルの推進
- ③地域コミュニティの活性化

店舗



- ・ アプリを利用したお得情報の発信
- ・ 現金管理のリスク・コストの軽減
- ・ 低コストのキャッシュレス決済の導入

行政



- ・ ポイントを活用した住民の行政活動参加
- ・ アプリを経由した情報発信
- ・ 適時適切な経済対策支援
- ・ ICT促進・活用による業務効率化や利便性向上
- ・ データ活用による地域経済分析の高度化

3-3. デジタルデバイス対策の推進

サインイン ? ? アカウント
パスワード 情報漏洩
スマートフォン利用の不安要素



苦手意識の解消

スマートフォン講座



? どんな講座なの?



【内容】

プロの講師を招いて、様々な内容で学んでいただけます。

- ・スマートフォン操作の基本
- ・インターネット検索の方法、各種アプリの使い方
- ・電子申請の操作方法など

【会場や実施時期など】

公民館や市役所庁舎など

9月から順次開催中、「広報はだの」等での募集案内
全59コマ（約600名）

【問い合わせ デジタル推進課 0463-82-5115】

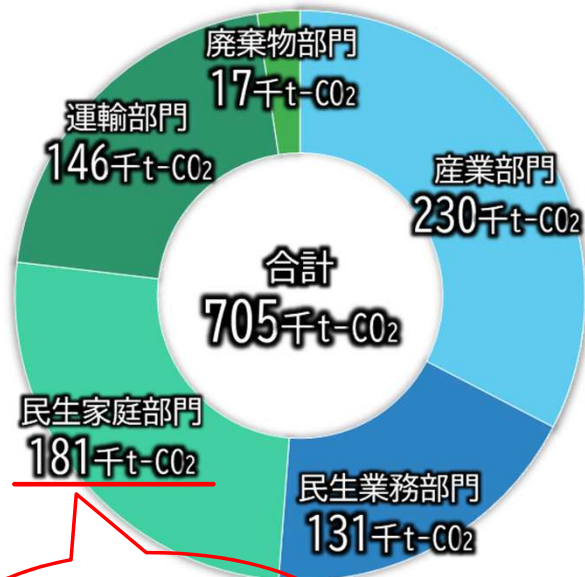
声で検索したり、写真を撮影したり、地図の検索をしたり楽しみながらスマートフォンの機能を学ぶことができます。

4.カーボンニュートラル推進の取組

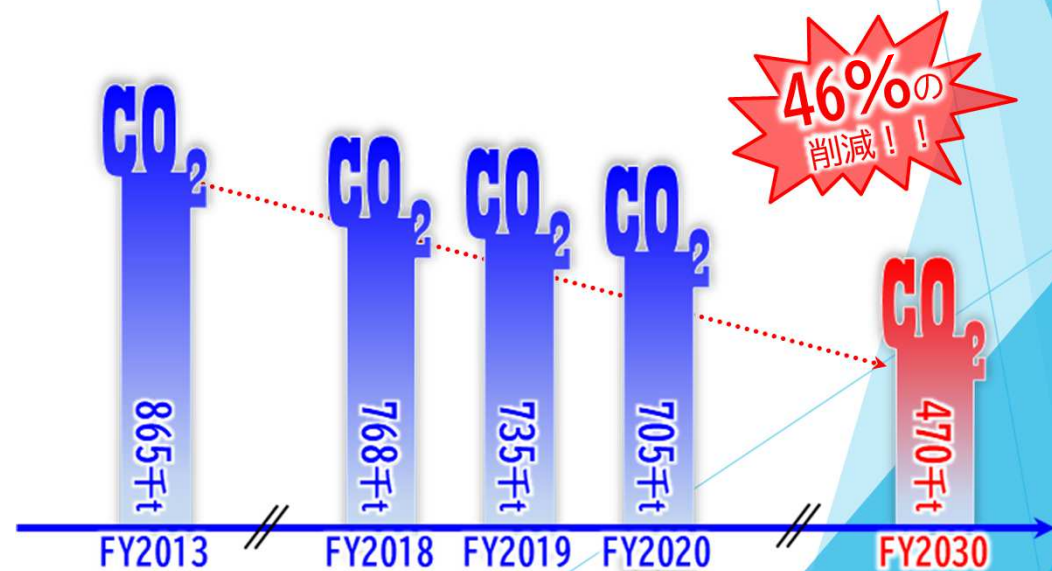
➤ 秦野市地球温暖化対策実行計画による推進体制

環境課題の解決策を「ひとごと」とすることなく、「じぶんごと」として捉える“市民・事業者・行政の誰もが主役”となって取り組む姿勢を「みんなごと」と定義。

➤ 秦野市域の二酸化炭素排出量（2020年度実績）



特に、削減は横ばい…
「人づくり」に注力！



▶ 市民を対象とした取組①（公立小中学校「省エネプログラム」）

「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向け、2030年度までを「人づくり（環境教育等による一人ひとりの意識向上の徹底）」の期間に位置付け、本期間で培った「行動意識の革新」を次の段階につなげられるよう『効果定量型省エネ教育プログラム』を実施。



教員向け「指導者養成講座」の様子
(令和5年8月24日)



大根小学校での「公開授業」の様子
(令和5年10月11日)

6週連続の授業（本プログラム）を受講すると...
（児童が属する）家庭から排出される二酸化炭素の削減を実証！！

約 **5%** の削減

実施対象校 【令和5年度】	学年	人数	合計
4校・14クラス	大根小学校	4年1組, 2組	計74名
	西小学校	6年1組~3組	計105名
	未広小学校	4年1組~3組	計82名
	東中学校	1年1組~3組, 2年1組~3組	計188名
			合計 449名

▶ 市民を対象とした取組②

生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、脱炭素につながる新しい暮らしの絵姿である『デコ活※～暮らしの中のエコろがけ～』の実践。

※二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

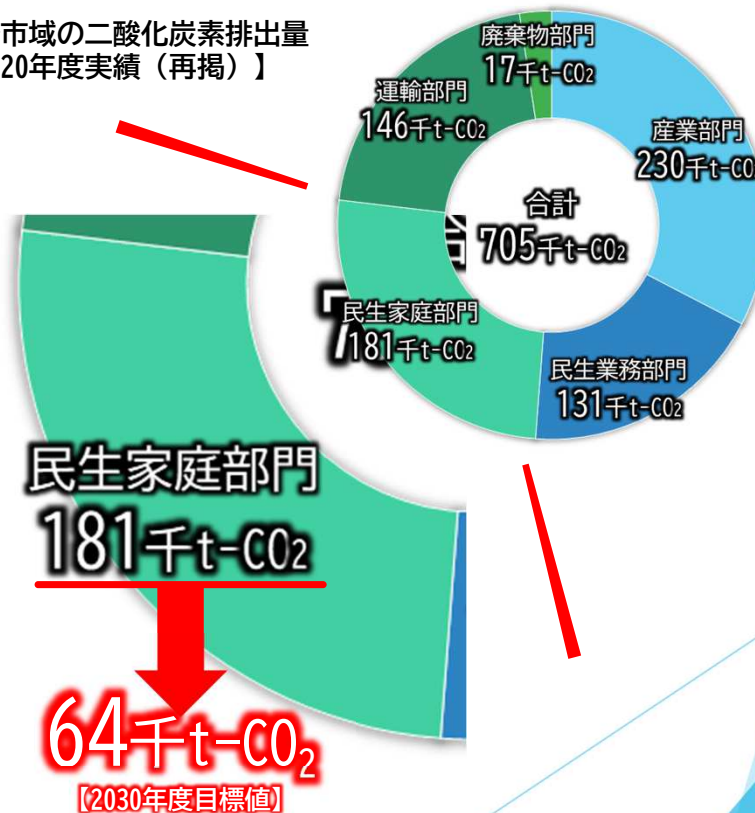


デコ活
暮らしの中のエコろがけ

デコ活アクション まずはここから

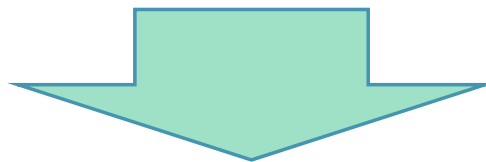
- 🔌 電気も省エネ 断熱住宅
- 🌿 こだわる楽しさ エコグッズ
- 🙏 感謝の心 食べ残しゼロ
- 💻 つながるオフィス テレワーク

秦野市域の二酸化炭素排出量
【2020年度実績（再掲）】



5. 新型感染症への対策

令和2年（2020年）1月に国内で最初の新型コロナウイルス感染患者が確認されて以降、全国的に感染がまん延するなど、これまで経験したことのない未曾有の危機に直面した。



○秦野市の対策

市民の生命（いのち）と暮らしを守ることを最優先に、「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3つの柱を軸に、感染の拡大防止と社会経済活動の両立を見据えた対策を全庁一丸となって展開した。

■健康と医療を守る取組

【主な取組】

○新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の感染や発症、重症化を予防するため、秦野伊勢原医師会、秦野市薬剤師会等の関係機関と連携し、メタックス体育館はだの（市総合体育館）での集団接種及び市内医療機関での個別接種を行い、迅速に希望者に接種を推進した。

※ 令和5年秋開始接種

令和5年9月20日～令和6年3月30日まで実施中

（集団接種は10月30日まで）



■日々の暮らしを守る取組

【主な取組】

○自宅療養者等への食料品等の支援

自宅療養者や濃厚接触者のうち、親族等からの支援を受けることができないなどの理由がある方に、神奈川県と連携して、食料品や衛生物品などを提供することで、不安の解消に努めた。



■地域経済を守る取組

【主な取組】

○プレミアム電子商品券の発行

新型感染症拡大の影響により、低迷した地域経済の活力を取り戻すため、関係する団体等と連携してプレミアム電子商品券を発行することで、市内での消費を喚起し、地域経済の活性化を図った。



6.都市間競争から都市間連携へ

県央やまなみ地域における都市間連携

丹沢大山国定公園のすそ野に広がる秦野市、厚木市、伊勢原市、
愛川町、清川村の5市町村が連携し、将来にわたり発展し続ける
「魅力あふれる地域社会づくり」に取り組んでいきます。



愛川町 秦野市 厚木市 伊勢原市 清川村
小野澤町長 高橋市長 山口市長 高山市長 岩澤村長

県央やまなみ地域における連携の強化

地域の貴重な資源を生かした「観光施策の推進」をはじめ、「災害時における相互支援の強化」や「広域的な鳥獣対策の推進」など、様々な分野における取組を充実・強化することで、地域社会の発展と安全・安心なまちづくりを推進します。

協定に基づく様々な施策の推進

- 新東名高速道路の全線開通を見据えた観光施策の推進
- 災害時における相互支援の充実・強化
- 広域的な野生鳥獣対策の推進
- デジタルを活用した市民サービスの向上

など

プラン	料金	内容	料金	内容	料金
1	A 1日券 2,000円	高速道路利用券 バス2,200円 お買物券 2,000円	4,200円	高速道路利用券 バス1,700円 お買物券 2,500円	3,700円
2	A 1日券 2,000円	高速道路利用券 バス2,700円 お買物券 2,000円	4,700円	高速道路利用券 バス2,100円 お買物券 2,000円	4,100円

ドライブプランの詳細はこちら
有効期限 | 2024年3月31日まで

●ご利用開始前までにお申し込みが必要です(お申し込みはNEXCO中日本公式Webサイトから)
NEXCO中日本公式Webサイト <https://hayatabi.c-nexco.co.jp/>

一市三町における広域連携の推進

渋沢丘陵でつながる秦野市、中井町、大井町、松田町の
一市三町が連携し、「**地域社会の発展と、誰もが暮らしやすい
まちづくり**」に取り組んでいます。



一市三町の協議会

一市三町における広域連携の推進

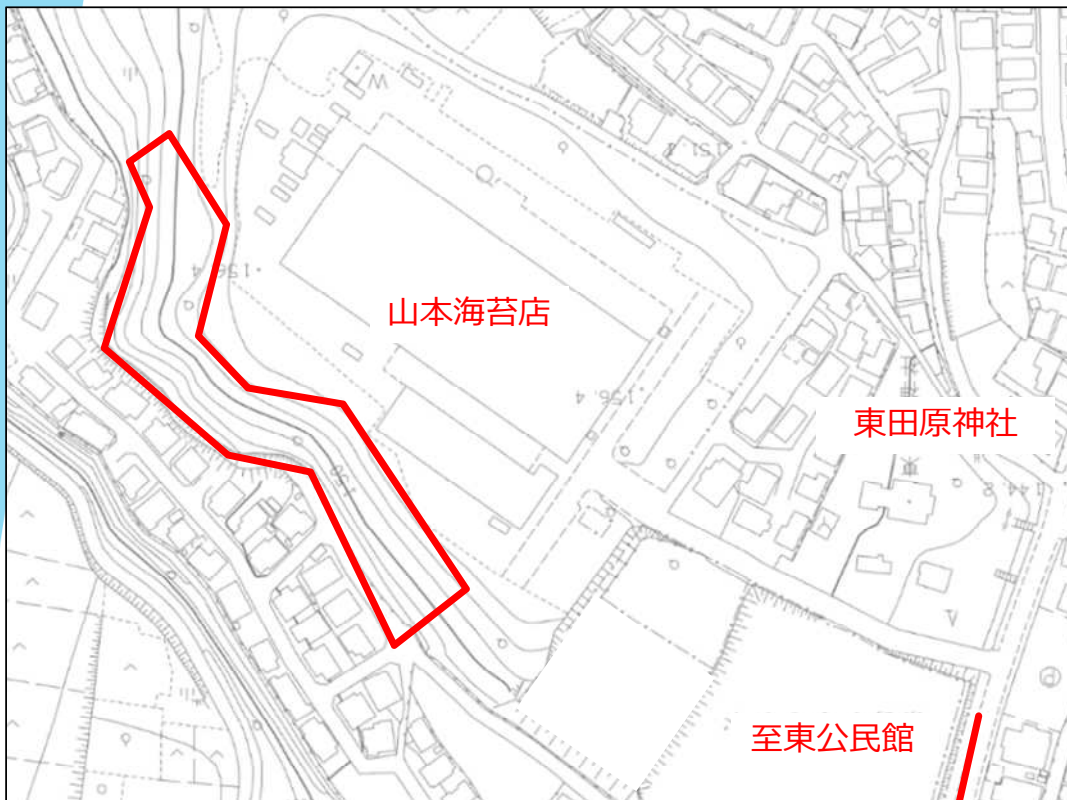
地理的に関係性が深い市町で、「女性と子どもが住みやすいまちづくり」や、「広域的な野生鳥獣対策や森林管理」のほか、「国道246号バイパス周辺の土地利用の検討」など、広域的な行政課題の解決に取り組み、地域社会の発展と暮らしやすいまちづくりを推進します。

広域連携による取組み

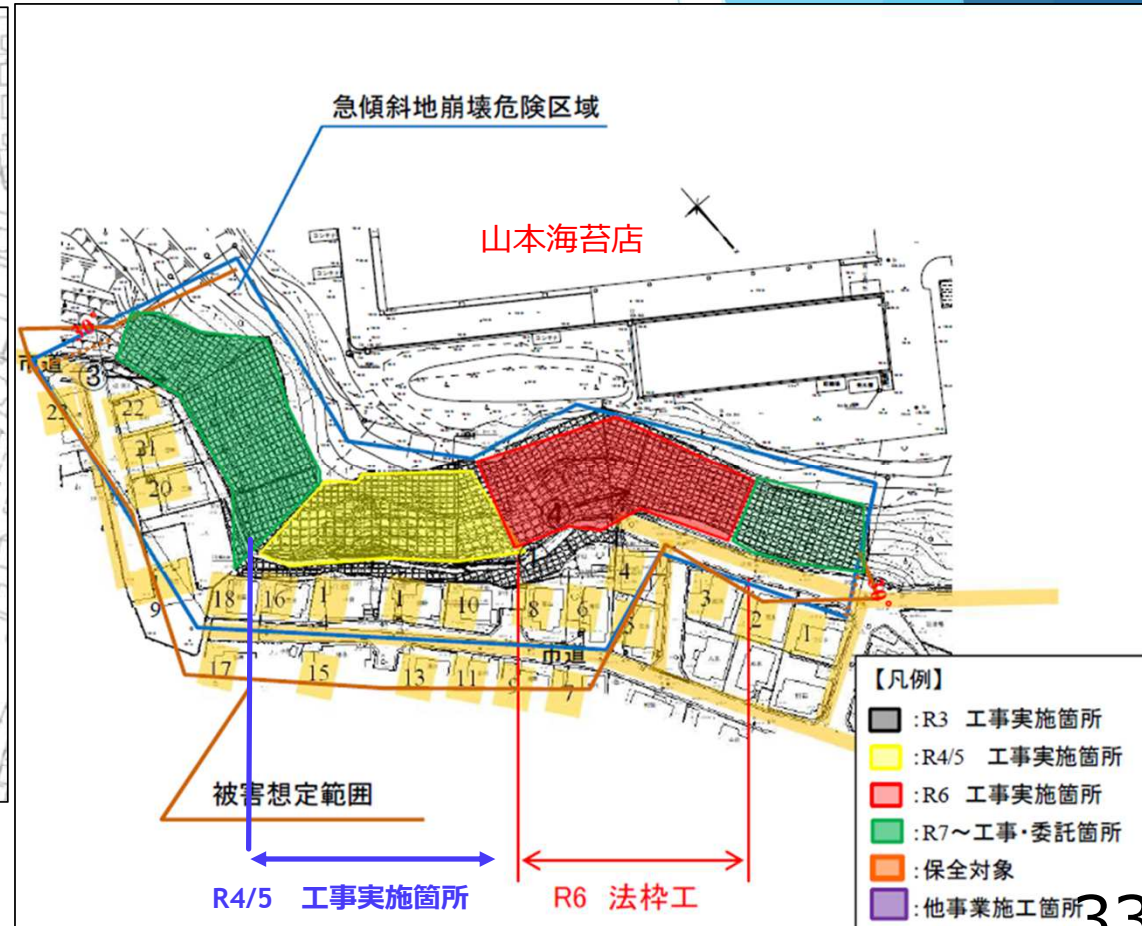
- 「女性と子どもが住みやすいまちづくり」の推進
- 広域的な野生鳥獣対策や森林管理の推進
- 国道246号バイパスの整備促進と合わせた「周辺土地利用の検討」 など

7. 東田原急傾斜地の対応

位置図



今後の工事予定



7. 東田原急傾斜地の対応



(令和5年8月4日撮影)

8.通学路整備・市道改良等

市道61号線 通学路整備及び舗装打ち換え (グリーンベルトの設置・交差点の安全対策)

寺山方面

令和4年度舗装の打ち換えを実施

令和4年度グリーンベルトの設置、交差点の安全対策、舗装の打ち換えを実施

市道61号線

過年度グリーンベルトの設置済み

令和5年度舗装の打ち換えを実施

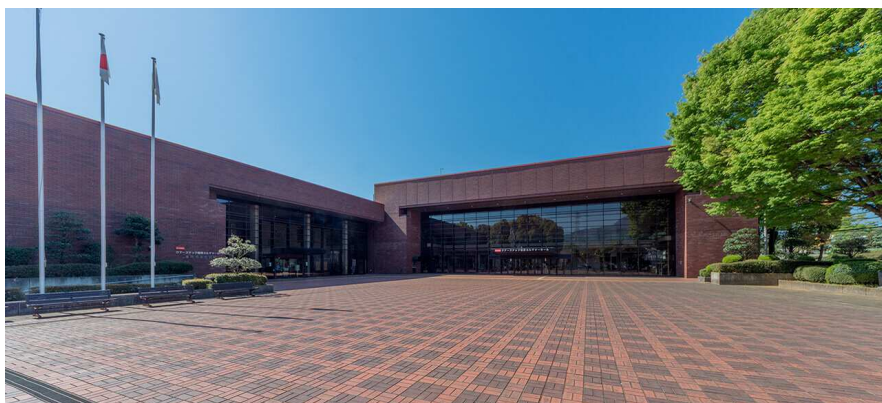
ニトリ

国道246号

整備前

整備後

9.クアーズテック秦野カルチャーホール の大規模改修工事に伴う休館



▶ 休館期間について

令和6年7月～令和7年10月

※令和7年4月から

「展示室」「会議室」「和室」「練習室」

のみ利用可